

# 平成25年度 部局経営方針

危機管理監 新屋 義文

## 1 部局の使命と基本方針

### ◆部局の使命

市民の安全確保のため、地域防災力の向上及び危機管理意識の高揚を図るとともに、災害に強く、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを市民と協働して推進します。

### ◆部局の基本方針

- ①災害時等において迅速、的確な対策を講じ、市民の安全を確保します。
- ②災害時等において正確かつ迅速な防災情報の提供を行います。
- ③交通安全、防犯等に配慮した安全安心のまちづくりを推進します。
- ④川内原子力発電所に係る安全対策及び防災対策を推進します。

## 2 部局内の経営資源（平成25年4月1日時点）

当初予算		4.5億円（A）【歳出予算比率 0.9%】		
構成人員		職員（B）	嘱託	計
	職員数（人）	11	2	13
	職員比率【B/市職員1,108人】	1.0%		

## 3 重点目標

- 防災関係機関、地区コミュニティ協議会及び自治会等と連携し、特に災害時要援護者の安全かつ迅速な避難に配慮しつつ、災害対策を推進します。
  - ・災害に対する危機管理体制、防災機能を更に強化するとともに、自主防災組織の組織化、活性化に取り組み、地域と連携して災害対策を行います。
  - ・災害時要援護者の避難に係る個別支援計画の更なる作成を推進します。
- 防災行政無線・戸別受信機の整備事業を完了させるとともに、適切な管理、運用により、適時、的確な防災情報の提供に努めます。
  - ・コミュニティFM放送、緊急速報メール等の多様な通信手段の活用体制を整備します。
- 防犯及び交通安全に係る機関・組織と連携し、安全安心のまちづくりを推進するとともに、「セーフコミュニティ※」の認証取得に向けた取り組みを行います。
  - ・子どもや高齢者等の交通安全対策を推進するとともに、自主防犯組織と協働してパトロールを強化し、地域の安全な環境づくりに努めます。
- 事業者の規制基準に基づく対策の実施状況を確認し、川内原子力発電所の安全を確保するとともに、原子力災害に対する体制整備を更に推進します。
  - ・原子力災害対策指針及び県計画の変更に伴う本市の原子力防災計画の変更を確実に進めます。
  - ・戸別訪問事業及び訓練の実施により、避難先や安定ヨウ素剤の予防服用など、市民への原子力防災計画の周知徹底に努めます。

※ セーフコミュニティとは、地域住民、関係団体及び行政が連携して、事故やけがの未然防止に取り組む世界基準の安心安全活動で、世界保健機関の関連機関が推進する認証制度です。